

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

## U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也  
●幹事 草村安宏

 No.1921 令和 07 年 11 月 19 日 第 17 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)


よいことの  
ために  
手を取りあおう

### ■点鐘

### ■国歌斉唱「君が代」

### ■ロータリーソング 「それでこそロータリー」

### ■来訪者紹介

(会長 堤勝也)

見学 岡村政志 様  
株式会社 On-Do 代表取締役社長  
(広告・メディア関係)

見学 寺坂厚則 様 司法修習生

### ■会長の時間

(会長 堤勝也)

皆さま、改めましてこんにちは。  
本日は、見学にお越しくださった岡村様にも、私たちクラブの和やかな雰囲気を感じていただき、ぜひ前向きにご検討いただければ幸いです。

さて、本日も理事会を行いました。改めて「本当に良い理事に恵まれている」と実感した時間でした。  
メンバー全員が同じ方向を向き、しっかり議論しながら意思決定を進める—そんな理事会が土台にあるからこそ、クラブとしても力強く前へ進めるのだと感じています。

先週の第二例会後の二次理事会でも、皆さんから熱意ある意見が次々と出て、「これからのクラブはもっと良くなっていく」という手応えを強く感じました。



今日の理事会でも緒方理事から話がありましたが、“ここで終わりではなく、これからしっかり実行して前に進んでいくこと”が何より大切です。

私自身も、会長としての役目をしっかり果たし、クラブの発展に努めてまいります。  
どうかこれからも皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

以上、会長の時間でした。

### ■幹事報告 (幹事 草村 安宏)

■来信案内  
特にございません

### ■クラブより

1)  
第5回定例理事会報告。

1. 次年度地区委員推薦の件。

古田哲朗 会員 … 職業奉仕部門 職業奉仕委員会  
宮川義行 会員 … 職業奉仕部門 職業奉仕委員会  
彌富照皇 会員 … ロータリー財団部門  
グローバル補助金委員会  
武末直大 会員 … ロータリー財団部門  
グローバル補助金委員会  
山田公也 会員 … 米山奨学会部門 米山奨学生選考委員会

2. 退会者の件。

志賀重人 会員 … 退会届提出あり

①. 退会年月日：令和7年11月4日

②. 退会理由：腰痛（ぎっくり腰）により歩行が困難なため

【承認】

3. グローバル補助金の件。

通宵国中（トンシャオ中学校）トイレ改修事業

【保留】

・11月19日に臨時理事会を開催して審議する。



■今後の地区行事

| 開催日    | 行事名           | 場所                                         | 会場                                           | 出席者          |
|--------|---------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------|
| 2025 年 | 11 月 19 日 (水) | 第 2 回熊本市域 RC<br>会長・幹事会                     | 熊本県<br>熊本市<br>メルパルク熊本                        |              |
|        | 11 月 22 日 (土) | 熊本地区カウンセラー<br>報告会                          | 熊本県<br>熊本市<br>市民会館シアーズ<br>ホーム夢ホール            | 宮川義行<br>魏芸婷  |
|        | 11 月 30 日 (日) | 熊本西 RC 創立 40 周年<br>記念シンポジウム並びに<br>記念式典・祝賀会 | 熊本県<br>熊本市<br>ANA クラウンプラザ<br>ホテル熊本<br>ニュースカイ | 堤勝也、<br>草村安宏 |
| 2026 年 | 1 月 7 日 (水)   | 熊本市域 RC<br>新春合同例会                          | 熊本県<br>熊本市<br>ホテル日航熊本                        | 案内中          |

■ロータリー情報の時間  
(ロータリー情報担当委員長 松本繁)

■ 本日のロータリー情報

私のロータリー情報の時間では、主に、私の 38 年間のロータリー歴において、私がロータリーで学んだこと（＝ロータリー活動を通じ、ロータリーに関する書物や、歴史、各国の文化のこと）や仲間との出会いと自分の人生観、また奉仕の在り方について、経験したことを中心にお話しさせていただいております。

今回は、前半、職業奉仕の勉強の一部、「ロータリーにおける職業奉仕の萌芽（芽はいかにして始められたか）」について紹介したいと思います。

■ ロータリーにおける職業奉仕の萌芽

人間は生まれながらに自分のことよりも他人のことを考えたり、あるいは他人のことをさておいて自分のことという Self（自我・自己）の発露からくるところにあります。このことは、わが身をほうっておくわけにはいかないのは自分の命のためであり、他人をほったらかしにしておいてよいことはありません。

ロータリーというのは、まず Fellowship（仲間意識）の時代であったのです。次は当然、他人を仲良くするだけでは共同生活は営まれない、という意味で、個人に依存させたり、他の幸せを願うようにする段階がきたのです。

つまり、個人的な関係が経済的協力性を帯び、友人関係に芽生える段階であるため、即ち Service の時代に入ったと言えるのです。

ロータリー初期のころは、シカゴの中流生活者ばかりで Self がかなり強いものであったため、「商売は商売」「商売は商売だ、へんなものをまじえては自分が傷つく」という時代でした。しかしポール・ハリスはこれに反応して、友を求め、友情を深めることによって職業を発展させようとするアイデアからロータリークラブを作ったのであります。

■ Fellowship から Service へ

即ちロータリーは Fellowship の段階から始まりましたが、その会員は見知らぬ他人ではありながらも、1 業種 1 会員制による「商売先を含まない会」であったため、そこに親睦が芽生えました。

この親睦は、職業を異にする人々と知り合う機会となり、そして他人を思いやり助け合おうというアイディアが芽生え、その友情と商売がうまくかみ合い、「他人のために役立つことをしよ

う」という、いわゆる奉仕の精神が萌芽したのであります。

すなわち Service の時代に入りました。この Service 精神の萌芽が発展して、これを「職業奉仕」と呼ぶようになった、というわけであります。

■ まとめ

以上、ロータリーの金看板と言われる「職業奉仕」の萌芽についてのロータリー情報でした。

■ 委員会報告  
(姉妹クラブ担当委員長 緒方公一)

和歌山東南 RC  
創立 55 周年記念事業について



■ 委員会報告  
(社会奉仕担当委員長 宮川義行)

11 月 13 日、アクト Zoom 例会がありました。10 名程の参加でしたが、みんながアクトへの思いを語り合えた実のある例会でした。新会員も含め、ボランティア活動をしたい、社会貢献活動をしたい、世の中の役に立ちたいという意見が大半でした。昨年までは、友達を作りたい、楽しいことを探したいといった動機の子たちが多かったのですが、この 1 年のアクト活動を通して一人一人成長してくれています。クラブだけでなく、地区や九州グループ、全国大会にも参加してくれるメンバーが増えてきました。宮田会長の努力が実を結んでできました。アクトのみんなには、将来、東南ロータリーを目指してもらいたいと思っています。これからも、応援よろしくお願いします。



■ 出席報告  
(出席・プログラム担当委員 内田信行)



| 月日        | 会員数               | 出席者数         | MU | 修正出席者数 | 出席率 (%) |
|-----------|-------------------|--------------|----|--------|---------|
| 11 月 05 日 | 休会                | -            | -  | -      | -       |
| 11 月 19 日 | 38<br>(免 1)<br>37 | 28<br>(ZOOM) | -  | -      | 75.68   |

☆出席免除  
11 月 19 日 島村徹男

## ■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 生駒ちあき)



◎宮川義行 5,000 円

そろそろ冬の寒さが訪れそうですが、血管の病気を抱えている人にとっては、冬の一山を越えることは一苦労です。皆さん、頑張ってください。

明日は済生会で、脳梗塞の経過検査をうけます。11 年前に受けた心臓のステント手術の経過検査を 3 月にしたときは、異常



ないと言われました。3 年前、脳梗塞の手術を受けて退院してすぐは、麻痺で左手に握ったグラスを落としたり、言葉が言葉にならなかったり、しばらく歩くと足が硬直していました。退院して次の日から、毎朝朝風呂に入るようにしました。今でも続けています。身体をしっかりと温めてから、活動するようにしました。3 か月間は、毎日毎日リハビリに通いました。姿勢改善やマッサージにも通いました。徐々に改善しました。そのおかげで今の私があります。この冬も何とか乗り越えられたらいいなと思っています。

## ■年次総会

### ●出席報告

(出席・プログラム副委員長 内田信行)



本日の出席率は 75.68% ですので、クラブ細則第 1 条により、本総会は成立します。(会員総数の 3 分の 1)

### ●議事進行

(議長 会長 堤勝也)



次年度の理事・役員の選出方法は、当クラブではクラブ細則第 3 条 第 1 節により指名委員会で指名し、それを年次総会で承認する方法を採用しています。

今回指名される人は次の 16 名です。

### ●2026～2027 年度 役員理事

◆会長：福井 学

◆直前会長（奉仕プロジェクト委員長）：堤 勝也

◆会長エレクト（会員増強委員長）：彌富 照皇

◆次々年度会長（副会長）  
(クラブ管理運営委員長)：緒方 公一

◆幹事：片岡 貞志

◆会計：草村 安宏

◆SAA：生駒 ちあき

◆理事：杉本 整哉

◆理事：松田 和成

◆理事：鈴木 義親

◆理事：内田 信行

◆理事：中島 祐爾

◆理事：松本 繁

◆理事：渡辺俊一郎

◆理事：古田 哲朗

◆理事：西田 智史

御承認戴ければ拍手をお願い致します。(承認)





## ●会計報告 (副会計 福井学)



## ■点鐘

(編集 松尾 浩)

## ～ 藤崎台球場清掃活動の見学 ～

今後の奉仕活動に向けて

実施日：2025年11月23日（日）

／会場：藤崎台球場園

新町と藤崎台童園が毎年合同で行っておられる藤崎台球場の清掃の様子を、今後の活動の参考のためにメンバー4名で見学いたしました。



## ～ 美味しい・楽しい・優しい台北に行こう ～

寄稿者：出村 知佳子（札幌北ロータリークラブ）

私が初めて国際大会に参加したのは、2004年の大阪大会でした。大阪ドームでの開会式、その圧倒的な雰囲気に入れられ、緊張でガチガチ。言葉が出てこない私に、偶然隣に座ったアメリカからの参加者が笑顔で話しかけてくれました。ぎこちなく返した言葉はやがて会話となり、ジョークも飛び交うようになりました。言葉や文化の違いを超えて心が通じ合ったその瞬間、国際大会はまさに「友情が生まれる場所」なのだと強く感じました。

その後も、国際大会は私に数えきれない思い出を与えてくれました。サンパウロ大会では、出発直前に雷の影響で往路便が変更され、思いがけず逆回りで世界一周をすることになりました。想定外の長旅は大変でしたが、振り返れば「ロータリーの旅は驚きに満ちている」と実感させてくれる出来事でした。

バンコクやシンガポールの大会では、以前からの友人たちに再会し、抱き合って喜びを分かち合いました。国も文化も違うのに、笑顔と笑い声で一瞬にして距離が縮まり、友情の続きが自然に始まる——そんな体験ができるのも国際大会ならではの魅力です。



私には、台北での忘れられない思い出があります。今から30年ほど前、初めて訪れた台北の夜市で出会った牡蠣炒めや甘いスイーツの数々、そして「これはね」と楽しそうに説明してくださる地元の方々の温かさに、深い感動を覚えました。モダンとトラディショナルが融合した街並みも魅力的で、一瞬で台北のファンになったことを覚えています。帰りの空港に向かうバスでは、逆回りの便に乗ってしまい、飛行機に間に合うか焦っていた私を、周囲の乗客が小銭を分け合って助けてくださいました。無事に空港に到着し、最後は皆さんに手を振って見送られました。その時の台湾の人々の優しさは、今も私の心に深く刻まれています。まさに「美味しい・楽しい・優しい台北」を象徴する体験でした。

国際大会は、ロータリアン同士の交流だけでなく、ROTEX、グローバル補助金奨学生、ローターアクトなど、次世代との出会いの場でもあります。世代を越えて友情を育むことは、やがて平和へとつながり、未来を形作る力になると信じています。私が経験したように、台北の魅力に感動する若者も、きっとたくさん生まれることでしょう。

そして今、私の心は2026年の台北国際大会に向かっていています。TEAM Japan 10,000の仲間とともに友情と平和の輪を広げたいと思います。「美味しい・楽しい・優しい台北」が、私たちを温かく迎えてくれるでしょう。幅広い世代の多様なロータリーファミリーが台北に集合し、世界中の仲間と心をひとつにして、最高の大会を分かち合える日を、心から楽しみにしています。

